



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年02月11日 第906号「週刊五十嵐レポート」

答えのない時代の生き方

月刊誌「致知」3月号に成毛眞氏のコラム「アマゾンなぜ圧倒的に強いのか(答えのない時代の生き方戦略)」があった。

いまや私たちは誰もがアマゾンと無関係に暮らすことはできない。1995年に創業、「地球上で最も豊富な品揃え」をスローガンに急成長。当初はオンラインの書籍販売からはじまり、今では靴や服、日用品、DVD、オフィスの事務用品、さらに生鮮食品を取り扱っている。

桁外れの品揃えを可能にしているサービスが、アマゾン以外の外部事業者が商品を出品する「マーケットプレイス」。マーケットプレイスで取り扱っている商品は、アマゾン直販の品数の30倍以上、約3億5千品目以上に上る。アマゾンに出品する中小企業へ倉庫や在庫管理、決済、配送、カスタマサービスなど様々なインフラサービスをアマゾンが代行する。マーケットプレイスに出品してどんどん成長している中小企業は少なくない。

アマゾンは採算を度外視してでも、超大型の物流倉庫や小売店建設、新規事業に毎年巨額の資金を投資し続け、シェアを拡大してきた。日々凄まじいスピードで発展・拡大を続けるアマゾンのような超巨大企業と同じ土俵で戦っても、勝つのは非常に難しい。

日本人は、日本にしかない世界に通用する独自の価値にもっと目を向け、徹底して追及していく方が、将来性がある。例えば、日本には茶道や華道、弓道や古武道など日本でしか学ぶことができない独自の文化がある。

一定の答えが通用する時代は過去のもの。これと決めたらとにかく片手間ではなく、ざっくり「三千時間」を費やしてみる。答えのない中で、どう行動すべきか、自分はどこに特化すべきかを考え、そこに三千時間を費やし、自分にしかできない独自の価値を身につける人がこれからの時代に求められる人。

勝算なきは戦わず。戦わずして勝つ。勝ちやすきに勝つ。それが独自の価値。見つけるにも時間がかかる。強みに磨きかけるにも時間がかかる。ざっと三千時間。簡単には手に入らない。だから生き残れる。

ちょっと
気になる出来事

2月6日付、日経新聞に「鶏卵輸出5割増」という記事。

鶏卵の輸出量が過去最高を更新。財務省の貿易統計によると2018年の殻付き卵の輸出量は5887トン。過去最高だった17年に比べて5割増加。

訪日客の増加や海外で和食料理店が人気を集めるようになり、鶏卵の生食文化が広まってきた。

すき焼きに用いる生卵やラーメンのトッピングの半熟卵などが海外でも食べられるようになり需要が急増。日本食レストランの海外の店舗数は17年に約11.8万店と4年で倍以上になった。

日本の鶏卵は衛生基準が厳しく、生や半熟で食することができる。一方、海外の卵は加熱しなければ食中毒のリスクが高く加熱処理を前提とする。

859号に「TKG」(卵かけご飯)が訪日客に人気。更に日本食に必要な緑茶や日本酒も輸出が伸びている。日本の伝統食品が車に変わる輸出商品になる日も近い。ある意味で日本の逆襲である。



一口メモ
知識

他人の世話になり人の役に立つ

生きるとは、互いに協力しあうことで成り立っているのです。
「お互いさま」なのです。

生きるとは他人の世話になることであり、
自分も人の役に立っていることです。

そこがはっきりわかっているれば、
成功をおさめることができます。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

(株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

Tel.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

